

登録コード:MH280300 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目	必修
科目名	臓器移植検査学【22M以降】 Special Lectures on Transplantation Medicine			
担当教員	松田 和之			
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	検査技術科学専攻・3年 後期 火曜・2時限 水曜・4時限 水曜・5時限			
単位数、講義室	2単位	保健学科222講義室		遠隔授業科目
信大コンピテンシー	非該当			
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素		授業の達成目標	
	MH22カリ・保健			
	保健・医療において生じている現象を分析し、健康問題を解決するために必要な科学的根拠に基づいた判断の進め方について理解することができる。		1. 移植医療の実際について理解する。 2. 移植医療に必要な検査法について理解する。 3. それらの検査法の基本的技術を修得する。	
	MH25カリ・保健・検査, MH23カリ・保健・検査			
	基礎的・専門的な知識と技能 保健・医療専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。		1. 移植医療に必要な検査法について理解する。 2. それらの検査法の基本的技術を修得する。	
授業で学べる「テーマ」	科学的探求力 変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。		1. 移植医療の実際について理解し、検査の実際と課題を探究する。	
	健康長寿			
全学横断特別教育プログラム				
授業概要	臓器移植の基礎と移植拒絶反応の機序を学び、移植のための検査法の知識と基礎的技術を習得する。さまざまな領域の移植医療を知る。 本授業は、1、2年次に学んだ「病理病態学」、2年次に学んだ「免疫検査学」「遺伝子検査学」などの知識を前提とし、「遺伝子検査技術学実習」などの内容と相補的に学んでいくこととなります。また、本授業の内容は、4年次の臨地実習における重要な基礎知識となります。 本授業は担当教員の臓器移植に関連する検査および臨床における各領域の専門医・臨床検査技師としての実務経験を活かして講義を行います。			
授業計画	第1回（9月29日火 2限）授業計画について（松田） 第2回（10月7日水 5限）腎移植（上條：血液浄化療法部） 第3回（10月21日水 5限）肝移植（大野：移植外科学） 第4回（10月28日水 5限）成人に対する骨髄移植（中澤：血液腫瘍内科学） 第5回（11月4日水 5限）演習（予備日） 第6回（11月10日火 2限）移植コ－ディネ－タの役割（紺野：臨床検査部） 第7回（11月17日火 2限）小児に対する骨髄移植（齋藤：小児科学） 第8回（11月24日火 2限）脳死関連生理検査（平） 第9回（12月1日火 2限）中間試験 第10回（12月8日火 2限）移植関連検査概要（松田） 第11回（12月15日火 2限）組織適合性検査1（小嶋：輸血部） 第12回（12月22日火 2限）組織適合性検査2（小嶋：輸血部） 第13回（1月5日火 2限）移植医療における輸血部の役割（柳沢：輸血部） 第14回（1月12日火 2限）造血幹細胞移植と染色体検査-1（松田） 第15回（1月19日火 2限）造血幹細胞移植と染色体検査-2（松田）、授業アンケート 第16回（1月26日火 2限）期末試験（松田） 注：本授業は水曜日の5時限目あるいは火曜日の2次限に行う科目です。開校日時を確認するようにしてください。			
授業の進め方	スライド、教科書、講義資料による講義と実習を行う。			
テキスト、教材、参考書	臨床免疫学/輸血・移植検査学（窪田哲郎 他：医歯薬出版） 最新 臨床検査学講座 遺伝子・染色体検査学（東田修二 他著）医歯薬出版 金井正光監修：臨床検査法提要改訂34版（金原出版） 実習プリント 参考書：岡田雅人、他 タンパク質実験ノート（上・下）（羊土社）			
成績評価の方法	2回の筆記試験により総括的に評価する。前半試験(12月1日)50%、後半試験(1月27日)50%の配分とする。総計の60%以上の得点を合格とする。 中間試験や期末試験では、臓器移植、移植に関係する検査法などについての理解度を確認します。			
成績評価の基準	行動目標に関連した設問に対する選択式解答に加え、記述式解答における用語の適切さ、説明内容の論理的妥当性などを指標として、講義内容の範囲での、最低限の解答内容であれば、「水準にある」、ほぼ適切な解答であれば、「やや上にある」、十分に適切な解答内容であれば「かなり上にある」、該当範囲を超えて自身で能動的に学習した詳細な解答内容であれば「卓越している」と評価する。 90-100点；秀、80-89点；優、70-79点：良、60-69点：可			

事前事後学習の内容	オムニバス形式であるため、その都度、事前にeALPSの講義資料で内容を確認する。 事後には講義内容に関して復習し理解を深めること。 本授業の単位取得には90時間の学習が必要であるため、以下のような学習時間を要します。 授業時間30時間（2時間×15回）＋自己学習時間（4時間×15回）＝90時間
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	本授業は，保健学科，医学科，附属病院の教員によるオムニバス形式の移植に関する講義となります． オフィスアワー：質問への対応は随時可能 松田（kmatsuda@shinshu-u.ac.jp）保健学科中 校舎4階松田研究室まで